

県南地域で流行性角結膜炎（はやり目）が流行！

眼科定点の情報

（協力をいただいている医療機関からのみの報告です。定点当りで表します。）



流行性角結膜炎（はやり目）は、アデノウイルスによる疾患です。

○潜伏期：感染者と接触後、7～14日の後に発症します。

○好発年齢：**全年齢** ○季節性：**夏**

○症状：**眼の充血や、涙、目やに**が出たり、まぶしさを感じることがあります。

耳の前のリンパ節が腫れ、痛みを伴うことがあります。

○見えにくいなど**見え方が変わったら早めに受診**しましょう！

＜感染性が大変強く、家庭内感染や院内感染を起こすことがあります。＞

＜感染経路＞患者との接触で、主に手を介した接触により感染します。

★**涙、目やにを触った手で触られたいろいろなところ、**（ウイルスにより汚染された）ティッシュペーパー、タオル、洗面器などに**触れることで感染します。**

＜日常生活で気をつけること＞

- ◎流水でよく手を洗う
- ◎手で目をこすらない
- ◎タオルの共用は避ける
- ◎目はティッシュペーパーなど、使い捨てのもので拭く
- ◎お風呂は患者が最後に入る

＜消毒方法＞

- 手指：石けんなどをを用いた十分な手洗い
- 器具類・リネン類：
 - 次亜塩素酸ナトリウム、煮沸
- 環境：ドアノブや患者の触れたものは消毒用エタノールなどでふきとり（二度拭く）

発行元：福島県県南保健所生活衛生部医療薬事課

FAX

0248-23-1252

MAIL

kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAX及びメールでお願いします。